

スクールインターンシップ参加の感想

社会学部 教育文化学科 3年次生
(スクールインターンシップ 研修時)

校種：中学校

期間：2019年9月4日～10月4日 毎週水曜日・金曜日

私は、スクールインターンシップに参加していなければ、現場での学びは教育実習だけになってしまうことが自分の中で不安要素であったため、不安を解消して「本当に教師になりたい」という意思を強くしたいと思ったことから、このプログラムに参加しました。

説明会に参加した2回生の時は、3回生の時間割がどのくらい忙しくなるのかはっきりしてなかったため参加するかどうか迷っていました。しかし、お世話になる学校と打ち合わせで柔軟に日程・時間調節していただきました。私は長期型の申し込みでしたが、できるだけ学校行事に参加できるよう配慮していただきました。

活動内容は、授業見学・補助、学校行事（体育祭・文化祭）準備や当日参加、部活動指導等でした。私が参加にあたって1番苦戦したことは、部活動指導でした。私自身は中学校ではバスケットボール部、高校ではダンス部に所属していましたが、私が参加した日にバスケ部は休みで、ダンス部はその学校になかったため、正直指導できる部活動がありませんでした。その中学校も部活動指導員が指導していることが多かったのですが、どの部活にあたって指導できるようこれからの自分の課題を見つけることができました。

また、行事に向けて教職員同士や地域の方々との打ち合わせに参加させてもらったことや、研究授業に参加させてもらったこと、授業補助で支援が必要な生徒の補助をしたことは、教育実習期間ではできないスクールインターンシップだからできる経験・学びになったと思います。その学校によると思いますが、どのくらいの授業内容にするべきか、どのくらい支援が必要な生徒がいてその子にとっての困難はどのようなことか等を、客観的にみて学ぶことができる機会でした。この学びは教育実習にも活かしたいと思いました。

スクールインターンシップ生として実際に現場で学んだ1ヶ月がこれまでの大学生活で1番濃い時間でした。参加前に思っていた、「本当に教師になりたい」という気持ちも高まり、実際現場で学ぶことの重要性も感じました。事前指導・事後指導で、自分と違う場所で違うことを経験し学んできた学生さんとの交流から得られることも沢山ありました。

私は今までボランティア経験が1度もありませんでしたが、このプログラムが終了後もっと現場で学びたいと思い、母校の小学校でボランティアを始めました。私以外の参加者もインターンシップ先でボランティアや部活動指導員として継続していらっしゃいます。現場で学ぶことの重要性を感じられることができ、期待以上の学びを得られるプログラムであると思うので、少しでも迷っていたら是非参加することをお勧めしたいと思います！